

# 安全教育



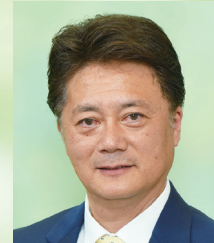
第45号

令和6年  
2月25日発行  
発行責任者  
横田 竜一

一般財団法人 横浜市安全教育振興会  
〒231-0014 横浜市中区常盤町3-25 サンビル7階 電話 045-662-7835 FAX 045-662-9831  
メールアドレス:info@anshinkai.or.jp ホームページ:http://anshinkai.or.jp/

## 新たな局面の中で

理事長 横田 竜一



5月にコロナの感染法上の位置付けが、インフルエンザと同等の5類に移行されました。マスク着用のルール等が見直され、学校現場の教育活動もPTAの活動も新たな局面を迎えました。外国からの観光客も増加し、横浜も賑わいを取り戻しつつあるようです。

さて、令和5年度のまとめと次年度への計画を立案する時期となりました。実施した新たな取り組みのご報告と今後の事業展開についてお知らせしたいと思います。

本年度、新たな取り組みとして、一つ目は、ポスター展の作品の展示・表彰式を桜木町の横浜市役所展示スペースならびにアトリウムにて開催しました。12月13日から17日まで、市役所展示スペースにて特別賞、入選・佳作の作品展示を行い、児童生徒の素晴らしい作品をより多くの市民の皆さんに見ていただきました。表彰式は12月17日(日)に市役所アトリウムにて実施いたしました。陽の差すアトリウムで、受賞者の皆さんと参加していただいたご家族の笑顔があふれる表彰式となりました。

次年度も横浜市役所にて、入賞作品の展示・表彰式を行います。



二つ目は、横浜市安全教育振興会の事務所にて、年間7回開催している救命救急法教室のうち2回を「幼児に対する救命救急法」として実施しました。これは、昨年「幼児に対する救命救急法」を実施してほしいという保護者の皆様からの要望に応えました。

「大人向けのAED講習は参加したことがありまし

たが、幼児向けのものを受ける機会がなかったので、すごく勉強になりました。講習によって少し自信がついたかなと思うので、あとは勇気を出して、そういった状況の際にも動けるように心の方も鍛えたいと思います。」

「AED蘇生法だけでなく、気道異物の除去法も教えていただき、本当に身になる講習会でありました。何年間に一度だと、忘れてしまうところもあると実感したので、定期的に参加もしてみたいと思いました。身近なママ友さんたち、子どもたちにも情報提供していきたいと思います。」

いただいた感想の一部を紹介させていただきました。熱心に研修に取り組む参加者の姿からも「幼児に対する救命救急法」の重要性を感じました。次年度も開催していきたいと考えています。

最後に今後の事業についてお知らせいたします。以前より会報やホームページの巻頭言などでお知らせしてきましたが、公益目的支出計画の終了に応じて、事業の見直しが迫られています。事業見直しの第一歩として「賠償責任補償制度」について、令和6年度をもって事業を停止する予定です。正式な決定は、次年度になりますが、会員の皆様に一日でも早くお知らせしたいと思い、今回の会報にてお知らせすることにいたしました。助成事業等に対する見直しも令和6年度中には、行う予定です。速やかな情報提供に努めて参ります。

令和6年度もPTA活動、学校現場を応援して参ります。そして児童・生徒の健全育成、安心・安全を守り抜くための安振会事業をより一層充実できるよう努めます。

令和6年度もご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 「いのちの学習」

## ～生命・生き方の授業を通して～



横浜市立滝頭小学校

### 1 はじめに

本校は、「手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小」を学校教育目標に掲げ、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指しています。そして、重点取組目標の一つである健康教育目標の中に、「自他の命を大切にし、人とかかわりの中で互いのよさに気づき、認め合い、共によりよく生きていこうとする子」を掲げています。

現代は、IT社会の進展により性に関する情報が氾濫しております。また、SNSをきっかけとする性被害・加害の低年齢化や生命の軽視など子どもたちを取りまく社会環境は大きく変化してきております。

そのような中で、本校としては、性教育を生命教育（いのちの教育）と捉え、「性」の指導そのものを目的化するのではなく、健全な自尊心、自己肯定感、自己有用感の育成を目指しています。実施にあたっては、学習指導要領や文科省『『生きる力』を育む保健教育の手引き』に沿って、児童の発達段階に合わせた系統的な学習内容を組み立てるとともに、授業前には、養護教諭と学年担任との打合せを十分に行い、TTなど指導形態を工夫して、ICT機器も活用しながら指導に当たっています。そして、保護者には、事前に学年だより等で学習内容について知らせ、どの学年も公開授業として授業参観等を有効に活用しており、授業後は、保護者の感想もいただいております。

### 2 各学年の取り組み

次に各学年の取り組み内容の概要について説明します。

1年生のいのちの学習は、6年間のいのちの学習の入り口です。「さわったり聞いたりして生きていることを感じよう」と題して、お互いの心音を聴いたり、握手をしたりしながら、生きていることを楽しく実感させる内容です。最後は「しゅくだい」の絵本を読み、お家の人にぎゅっと抱きしめてもらったり、握手してもらったりすることを宿題にしています。宿題の感想では、お家の方たちからも子どもたちを抱っこしたときの温かさや温かい気持ちを書いていただきました。

自分や友達の心音を聞いて、一人ひとり違うこと、生きていると色々なことができるということを学び、感じている子どもたちの姿を見ることができて、とても良い授業だなと思いました。【保護者感想】



2年生では、生活科の「広がれわたし」の学習で、今の自分・今までの自分・これからの自分について、お家の方からもコメントいただきながら学習します。そして「大きくなるっていうことは」の絵本を読み、体だけでなく心も成長していることに喜びを感じられる心を育てていきます。

普段は気にしていない「自分の成長」に目を向ける良い機会になったと思います。「ずっと健康でいてね」と自分自身にメッセージを書いていて、心も成長しているなど思いました。【保護者感想】

3年生では、「わたしのいのち～いのちのつながり～」と題して、「いのちのまつり」の絵本を読んで、いのちのつながりについて考えます。また、1、2年生で学習した、自分の名前の由来や身長・体重など生まれたときのことについて話し合ったり9年間の成長をふり返ったりします。

先祖代々つながってきたいのち。自分だけではなく、すべての人たちがかけがえのないいのちをもっていること、そのいのちを大切にすることを学べたよい授業でした。【保護者感想】

4年生では、「育ちゆく体とわたし～おとなに近づいていく体と心～」と題して、保健の学習で体の発育・発達や思春期に起こる体と心の変化について学習します。体や心は年齢とともに発育・発達することや、身長の伸びや体重の増加は人それぞれ個人差があること、思春期になると体の外側や内側に変化が現れることを学びます。（内側の変化は、初経や精通）



性について、家庭でいつ頃、何をどのように伝えていけばよいか分からず、今回の授業をきっかけに家でも体の変化について自然に話ができる雰囲気になったように感じました。今回「個人差」「人それぞれ」という言葉を先生方が繰り返し使っていたことが、強く印象に残りました。この言葉がしっかり子どもにも身についてくれたらと思いました。 【保護者感想】



5年生では、「かけがえのないいのち～守られて生まれてきたわたし～」と題して、まず理科の学習で、母胎内での胎児の成長や、いのちを守るしくみについて学びます。その後、自分が生まれるまでに気をつけたことや、大変だったことなどを家族から聞きます。また、助産師さんや保健師さん、保護者の方々にもお手伝いいただきながら、妊婦体験を通して妊娠中の大変さを実感します。そして、赤ちゃんお世話体験では、自分が赤ちゃんだったころ、家族にたくさんお世話してもらい、大きくなったことなどにも気づけるようにします。

妊婦体験や赤ちゃんお世話体験をすることで、自分のいのち、家族のいのち、まわりの人のいのちがどれだけ貴重で、大切なものなのか、わかってもらえたらうれしいです。日々の生活では、忘れてしまいがちですが、今を元気に過ごせていられることに、幸せを感じてほしいです。 【保護者感想】



6年生では、「自分大好き！～自分の心と体を大切に～して自分らしく生きていこう～」と題して多くのことをより実践的に学習します。保健の学習では、「喫煙の害」や、薬剤師の先生とともに「飲酒や薬物の害」について学びます。その上で相手の気持ちもきちんと聞きながら、「自分の気持ちをはっきり伝える」ということを学習し、最後に「たばこやお酒などよくない誘いを断る」というロールプレイングを行い、「自分を大切に、夢や目標に向かって自分らしく生きる」という授業を行います。

これから先「よくない誘い」が親の知らないところで増えていく中で、とても大切な授業をしていただき、ありがとうございました。実際に「断る」ことが学べたことで、いつも頭の片隅に「よくない」「あぶない」「怖い」とあり、距離を置くことができるのでは、と思います。

抑止に繋がる良い取り組みとと思いました。その日の夜に、試しに親からも誘ってみましたが、全力で断られました。(笑) 思春期、周囲からの誘いは、自分の意志を押し通せるほど現実には甘いものではないと思います。親として、環境づくりを意識しなければと考えさせられました。 【保護者感想】



### 3 今後に向けて

このように、本校では、いのちの学習を国語、理科、生活、総合的な学習の時間、体育(保健)、道徳、特別活動などの学習でカリキュラム編制しながら取り組んでいます。いのちの学習は、小学校教育において欠かすことの出来ない学習内容だと思っています。「性」に対する倫理観は時代とともに変化しています。また、LGBTQについての指導も喫緊の課題です。まず我々教職員が研修等を通して正しい知識を学ぶ必要があります。そして、性別にとらわれず、すべての人の人権を尊重するジェンダー教育も、我々教職員の日頃からの人権意識が問われることだと思います。これからも、保護者、PTA、学校地域共同本部、区役所、体育協会、助産師、保健師、地域などと連携しながらいのちの学習を実践していきたいと思っています。

〈調査研究委託事業〉

2023年度 横浜市PTA連絡協議会研修会

thinking 子育て! ~社会での活躍に繋げるために~

講演: 森林 貴彦先生 慶應義塾幼稚舎教諭(慶應義塾高等学校野球部監督)



2023年12月4日、横浜市市民文化会館関内ホール大ホールにおいて横浜市立小・中・高等学校及び特別支援学校の各PTA会員を対象とした研修会が開催されました。今回の講師は神奈川県代表として全国高等学校野球選手権大会(いわゆる夏の甲子園大会)を勝ち抜き、107年振りに母校を優勝に導いた、慶應義塾高等学校野球部監督、そして慶應義塾幼稚舎教諭でもある森林貴彦先生に、「Thinking-子育て」と題して講演を行っていただきました。

講演内容のベースは、野球部監督と小学校教諭という二足の草鞋(わらじ)を履きながら、日々子ども達と接する中で「教育とはいかなるものなのか」を自問自答しつつ、日々試行錯誤を重ねているという点に主眼を置かれたご講演でした。先生は同時に、家に帰れば子どもを抱える一人の親であり、一保護者でもあるので、そのお話の内容は子を育てる親という視点からのお話もあり、大変に示唆に富んだご講演になりました。

今回の講演を通して森林先生がもっとも伝えたかった点として強調されていたのが、「勝ちを追求する」だけではなく、『価値も追求すべき』である、ということでした。それは、野球部監督としては選手やチームが一丸となって切磋琢磨しながら勝利を目指すことが至上命題であるということは理解できるが、勝利至上主義になってはいけません。それを至上命題にすると勝つために手段を選ばなくなってしまうことにつながりかねない、という懸念からでした。先生の主張される『価値をも追求する』とは、個人としても組織としても成長することを目指して、「成長至上主義」ともいえるものを価値として追求する、ということでした。

この価値の追求に関連して、二つの重要なキーワードを示されていました。一つは教育とは『共育』なのではないかということ、そしてもう一つは『二者択一ではなく両方を目指す』ということです。「キョウイク」とは何かを教えるということではなく、共に育つことと考えるべきで、先生のお考えの根底にある「自ら育ち、自ら伸びる」ということをもっています。これは、我々保護者にとっても非常に含蓄の深い言葉であるとともに、まさに教育現場でも家庭でも忘れてはならない考え方であると強く感じました。さらに先生は、それぞれの成長の邪魔をしないことが大切であり、そのために教えるリスクをよく考えること。教えない勇気、黙って見守る勇気、任せて、信じ

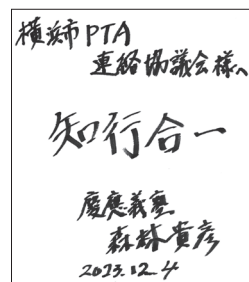
て、待つ、でもだいたい裏切られるのだが、そこで許すこと。ここが指導者として、保護者としての度量が試される場所だろう、とおっしゃっていました。これは、まさに「言うは易く行うは難し」という言葉の典型で、おそらく会場にいた誰もが頭では理解していることですが、実行するのは難しく、実際にはどうしても先に口や手を出してしまうということを繰り返してしまいます。誰もがみんな未熟であり、完璧な人間などおらず、願った通りにはいかないからこそ、任せて失敗しても許して成長を促す、そんなことが大切であると、改めて認識させられました。

もう一つのキーワードの『二者択一ではなく両方を目指す』とは、世の中様々なことが二項対立で考えられることが多いですが、実は多くの物事は二者択一ではなく、両方同時に追い求めても結構うまくできることが多い、というものです。例えば、個人と全体、家庭と仕事、利益と社会貢献、冷静と情熱、勝負と育成など、場合によってはどちらか一方を選ばなくてはいけないように感じますが、実はそうした物事をどちらも同時にやり始めてみると、意外に両立できることが多いというお話でした。さらに、同時に追い求めることで二刀流の視点など、独自の視点を持つこともできるかもしれないし、そのことが自分自身の成長にもつながるともおっしゃっていました。

子どもの成長を求めただけではなく、親は親で成長することが大事です。自らのそして周りの成長を求めるところが「勝ちを追求する」と同時に『価値の追求』でもある、というところが今回の講演の核心部分でもありました。森林先生が講演の中で強調されていたところを考えてみると、野球やスポーツだけでなく、また、子育てや組織運営だけでなく、私たちの日常生活を取り巻く全てにおいて応用が利くお話だったように思います。

森林先生は講演の冒頭で、「今日のお話の一つでも二つでも自分ごととして考えていただくことができれば・・・」という趣旨の発言をされていましたが、研修にご参加くださった一人ひとりの方が、ご示唆くださったことを自分ごととしてとらえ、この先の人生に、子育てに役立てながら、自分なりの『価値を追求』していただくことができれば素晴らしい、と感じました。

(横浜市PTA連絡協議会副会長 松本雅威)



# 栄養教諭・学校栄養職員による 第19回 学校給食展 ～心とからだに美味しい給食!～



## ＜ 学校給食展のはじまりについて ＞

学校給食展は、横浜市の栄養教諭・学校栄養職員の業務やそれにまつわる食育の様子や給食の内容を市民に広く知らせるために、今から20年前に学校栄養職員の先輩方が立ち上げました。

栄養教諭制度などが今のように確立していなかった時代に、市民の皆様は給食のことをよく知ってもら

うという思いから始まりました。横浜市立の小学校・特別支援学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員で準備し、開催しています。

新型コロナウイルスの影響で開催ができなかった年もありましたが、昨年の12月に第19回目の学校給食展を開催することができました。



## ＜ 給食について市民の方に知っていただくために… ＞

### ○ 展示コーナー

掲示物を通して、給食について紹介をしました。

- 給食の主食・主菜・副菜・汁物の紹介とレシピカードの配付
- 給食の地場産物の使用や生産者との関わり
- 校内でとれた野菜を使用した給食
- 特別支援学校の給食の形態（ミキサー食等）
- 食育の6つの視点（食事の重要性・心身の健康・食品を選択する力・感謝の心・社会性・食文化の伝承）を踏まえた各学校での取組
- 給食メニューコンテスト



### ○ 食べものシアター

学校で行っている食育指導の様子を、映像を通して紹介をしました。

- 「はしの持ち方」
- 「給食の栄養」
- 「まごは（わ）やさしい」
- 「大豆のはなし」
- 「やさいのおなか」
- 「おさかなビンゴ」
- 「骨や歯をじょうぶにする食べもの」など



来年度もよりよい給食展を目指していければと思います。

〈団体助成事業〉

一般社団法人 横浜すばいす はまみらい子ども会議事業部

# 横浜市のバラ「はまみらい」から広げる「愛」と「感謝」を伝えあう人の輪

## ～横浜の子どもたちのSDGs 実現へのチャレンジ～



横浜市全域から集う「はまみらいアンバサダー」の子どもたちと支援する大人の実行委員 50 名が月に一度程度、SDGs 達成に向けてのアクションを続けています。2019 年の結成からコロナ禍を乗り越えて、5 年間の活動実績があり、その中で6月2日(横浜開港記念日・「ローズの日」)に昭和初期まで横浜市開港祭の一環として行われていた「ばら祭り」を復活させることができました。

活動の目的は「バラ」の花言葉「愛」と「感謝」を伝えあう文化が横浜に根付いていくこと、その中で Well-being な温かな世界が広がることを目指して取組を進めています。テレビ会議やリモートワークもふんだんに取り入れながらアンバサダーの子どもたちの豊かな体験活動が SDGs 実現に向けてのチャレンジとなっています。



夏休み 野島合宿



### 2023年度の活動報告

#### 4月～5月 横浜のバラ「はまみらい」の配付・植え付け

今年も市内 10 か所に 20 株の「はまみらい苗」の植え付けを行いました。私たちはこれまでに 100 か所を超える保育園、幼稚園、小・中・特別支援学校、大学、福祉施設に「はまみらい」をお届けしました。

#### 6月2日 ローズの日 「横浜ばら祭り」開催

6月2日の横浜開港記念日は「ローズの日」です。この日、私たちは本町小学校の体育館で「横浜ばら祭り」を開きました。会場には、150 名の子どもたちが集まり、ワークショップブースでの体験活動を楽しみました。



#### 8月15日～16日 野島合宿 小中学生30名と大人10名が野島研修センターに宿泊し、地産地消の食育活動、海岸のマイクロプラスチック回収、生物多様性の観察、そして芸術祭参加準備の活動に取り組みました。

#### 9月17日 金澤文庫芸術祭に参加 出展と出演

海の公園で開かれた金澤文庫芸術祭に参加し、「オリジナルマラカス作り」「ソルトペインティング」のワークショップブースを出展しました。ステージでは「ハッピーローズ」ダンスを発表しました。



#### 10月～11月 秋の地域活動 アンバサダーメンバーが市内各地域でSDGs実践活動に取り組みました。

#### 11月4日「よこはま未来実践会議」(パシフィコ横浜)で小中学生の代表10名が取組の発表をしました。

#### 12月26日「うみとそらのおうち」冬の実践活動

冬休みに入った日 横浜子どもホスピス「うみとそらのおうち」に出かけ、花壇の手入れ、大掃除、そしてニューイヤーメッセージを飾る活動に取り組みさせていただきました。



〈単P助成事業〉

**横浜市立東希望が丘小学校**  
事業名：親子護身術体験教室

昨年10月に、講師5名をお招きして親子護身術体験教室を開催しました。

万が一の危険から身を守るため、こどもの力でも逃げられる技を教えて頂き、参加者に体験してもらいました。また、防犯対策として日常から気をつける事についてもお話いただきました。護身術は初めてだという参加者も多く、親子や友人とコミュニケーションをとりながら、普段から一人ひとりが防犯意識をもつ大切さを改めて感じる事ができたと思います。



**横浜市立平戸中学校**  
事業名：竹林清掃

毎年春と秋の年2回、本校敷地内にある竹林の清掃を、PTA、地域の方々のご協力を頂き行っております。この度、単P事業の助成を頂き、伐採時に使用する器具や収納用の箱を、リニューアルできました。おかげ様で作業の効率が上がり、竹林も短時間で見違えるようにきれいになりました。

竹林清掃は学校とPTA、地域の方々と繋ぐ交流の場でもあり、今後も継続していきたいと思っております。



〈区・部会助成事業〉

**戸塚区PTA連絡協議会 事業名：全体会 東大CASTサイエンスショー**

児童生徒が楽しく科学に親しむ機会を作りたい、という思いから、東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCASTさんをお招きし、親子参加型のサイエンスショーを行いました。

第一部は液体窒素を使った実験を鑑賞し、第二部で

はCASTのスタッフと一緒に電気と磁石を使ったおもちゃを自分で作る体験コーナーを実施しました。難しいところは保護者の力も借りながら、親子でおもちゃを完成させました。参加した児童から、驚きの声、喜びの声がたくさんあがり、楽しいひと時となりました。



# 第37回「健康と安全」ポスター展



- **展示会場**：横浜市庁舎展示スペースB / 安振会ホームページ上
- **展示期間**：令和5年12月13日(水)～  
 (横浜市庁舎展示スペースB) 令和5年12月17日(日)まで  
 (安振会ホームページ) 令和6年1月12日(金)まで
- **応募点数**：595点    ■ **受賞作品**：特別賞14点 / 入選12点 / 佳作12点
- **審査委員**：横浜市教育委員会 小中学校企画課指導主事 長谷川 聡 先生  
 横浜市小学校図画工作教育研究会会長 寺澤みゆき 先生 (横浜市立緑小学校長)  
 横浜市立中学校教育研究会美術科部会長 中澤 務 先生 (横浜市立南高等学校附属中学校校長代理)

## 特別賞受賞作品



**救おう環境**  
 三保小学校5年 鶴野沢莉央



**NO TIME LEFT**  
 藤の木中学校1年 小林蒼依



**こうつうルールをまもってみんなにこにこ**  
 本郷台小学校1年 小島康太郎



**海を守れ**  
 仲尾台中学校3年 舩館 日菜子



**みんなは**  
 能見台小学校5年 酒井結夢



**体動かし健康づくりの第一歩!**  
 笹下中学校3年 木村奏南子





自分をまもる ルールをまもる  
間門小学校2年 佐分 仁



約束守る?..  
港南中学校2年 碓美桜樹



家ぞくでかくじんしよう  
白幡小学校3年 鈴木 瑠乃



未来に残そう みんなの自然 みんなの居場所  
鴨居中学校2年 福留 茉莉



安全にわたる  
山下小学校4年 堀野 光誠



まだ食べられますよ  
笹下中学校2年 酒井 文



地球のために分別しよう!  
山元小学校5年 塩田 想



一瞬の油断 一生の傷  
笹下中学校3年 工藤 沙理奈

### 令和5年度 加入状況

| 校種     | 賛助会員数 | 世帯数     |
|--------|-------|---------|
| 小学校    | 336   | 136,671 |
| 中学校    | 134   | 66,108  |
| 高等学校   | 5     | 4,195   |
| 特別支援学校 | 12    | 1,386   |
| 総計     | 487   | 208,360 |

(小学校には、横浜国大附属横浜小が含まれる)

### 令和5年度 評議員名簿

| 氏名    | 備考                             |
|-------|--------------------------------|
| 大槻 繁美 | 学識経験者((公財)よこはまユース業務執行理事・事務局次長) |
| 吉備 カヨ | 学識経験者(横浜市スポーツ協会副会長)            |
| 荒木 高司 | 学識経験者(神奈川県立高等学校安振会評議員)         |
| 米盛 司  | 横浜市立中学校長会<br>(総務・横浜市立横浜吉田中学校長) |
| 片山 久也 | 横浜市教育委員会代表(総務課長)               |
| 松本 豊  | 学識経験者(横浜市子ども会連絡協議会会長)          |
| 松本 雅威 | 横浜市PTA連絡協議会(副会長)               |
| 宇積 悠  | 横浜市PTA連絡協議会(会計)                |

### 令和5年度 理事・監事・審査委員名簿

| 役職名  | 氏名     | 備考                  |   |
|------|--------|---------------------|---|
| 理事長  | 横田 竜一  | 学識経験者               | ○ |
| 副理事長 | 豊田 則夫  | 学識経験者               | ○ |
| 副理事長 | 竹本 靖代  | 学識経験者               | ○ |
| 専務理事 | 小宮 寛之  | (一財)横浜市安全教育振興会 事務局長 | ○ |
| 常務理事 | 斎藤 博栄  | 学識経験者               | ○ |
| 理事   | 鈴木 秀高  | 学識経験者               |   |
| 理事   | 生田 麻実  | 学識経験者               |   |
| 理事   | 海上 良太  | 学識経験者               |   |
| 理事   | 樋口 眞砂子 | 学識経験者               |   |
| 理事   | 鈴木 進   | 学識経験者               |   |
| 理事   | 菅野 陽子  | 学識経験者               |   |
| 理事   | 水島 貴志  | 横浜市立小学校長会(副会長)      | ○ |
| 理事   | 鈴木 薫   | 横浜市立中学校長会(副会長)      | ○ |
| 理事   | 福島 豊   | 横浜市立特別支援学校長会(会計)    |   |
| 理事   | 東 隆幸   | 横浜市PTA連絡協議会(会長)     | ○ |
| 理事   | 倉根 美帆  | 横浜市PTA連絡協議会(副会長)    | ○ |
| 理事   | 木宮 依子  | 横浜市PTA連絡協議会(書記)     |   |
| 監事   | 角井 治朗  | 横浜市立小学校長会(副会長)      |   |
| 監事   | 高杉 陽子  | 横浜市PTA連絡協議会(会計)     |   |

○印は審査委員兼務

|      |       |            |
|------|-------|------------|
| 審査委員 | 紺野 勉  | 横浜市医師会推薦   |
| 審査委員 | 赤羽 重樹 | 横浜市医師会推薦   |
| 審査委員 | 神保 裕紀 | 横浜市歯科医師会推薦 |

### 令和5年度 上期 供花料等給付一覧表

令和5年4月1日~令和5年9月22日まで (単位 円)

| 給付別種・事由    | 対象      | 給付件数 | 給付額       |
|------------|---------|------|-----------|
| (1)児童生徒供花料 | 児童      | 4    | 120,000   |
|            | 生徒      | 2    | 60,000    |
|            | 小学校     | 32   | 960,000   |
|            | 中学校     | 31   | 930,000   |
| (2)保護者供花料  | 高校・特別支援 | 0    | 0         |
|            |         | 0    | 0         |
| (3)教職員供花料  |         | 0    | 0         |
| (4)証明書代等   |         | 26   | 46,900    |
| 合計         |         | 95   | 2,116,900 |

| 費用         | 件数 | 金額        |
|------------|----|-----------|
| (1) 振込手数料  | 87 | 36,080    |
| (2) その他手数料 | 0  | 0         |
| 合計         | 87 | 36,080    |
| 支払総額       |    | 2,152,980 |

### 令和5年度 上期 共済見舞金等給付一覧表

令和5年4月1日~令和5年9月22日まで (単位 円)

| 給付別種・事由     | 対象             | 給付件数 | 給付額        |            |
|-------------|----------------|------|------------|------------|
| 1 児童生徒事故見舞金 | (1) 傷害事故       | 児童   | 873        | 10,701,130 |
|             |                | 生徒   | 71         | 1,093,730  |
|             | (2) 障害         | 児童   | 1          | 59,400     |
|             |                | 生徒   | 0          | 0          |
|             | (3) 交通事故       | 児童   | 20         | 61,113     |
|             |                | 生徒   | 4          | 12,800     |
| 小計          |                | 969  | 11,928,173 |            |
| 2 児童生徒用慰金   | (1) 学校管理下外事故死  | 児童   | 0          | 0          |
|             |                | 生徒   | 0          | 0          |
|             | (2) 交通事故       | 児童   | 0          | 0          |
|             |                | 生徒   | 0          | 0          |
|             | (3) 登下校中の交通事故死 | 児童   | 0          | 0          |
|             |                | 生徒   | 0          | 0          |
| 小計          |                | 0    | 0          |            |
| 3 PTA事故見舞金  | (1) 傷害事故       |      | 0          | 0          |
|             | (2) 障害         |      | 0          | 0          |
|             | (3) 交通事故       |      | 0          | 0          |
|             | (4) 事故死        |      | 0          | 0          |
|             | (5) 往復途次の交通事故死 |      | 0          | 0          |
|             | (6) 病死等        |      | 0          | 0          |
| 小計          |                | 0    | 0          |            |
| 4 特別見舞金     | (1) 特別負傷見舞金    |      | 1          | 12,200     |
|             | (2) 特別交通事故見舞金  |      | 0          | 0          |
|             | (3) 死亡用慰金      |      | 0          | 0          |
|             | 小計             |      | 1          | 12,200     |
| 合計          |                | 970  | 11,940,373 |            |

| 費用         | 件数  | 金額         |
|------------|-----|------------|
| (1) 振込手数料  | 801 | 244,090    |
| (2) その他手数料 | 2   | 1,100      |
| 合計         | 803 | 245,190    |
| 支払総額       |     | 12,185,563 |

### 令和5年度 上期 学校管理下見舞金給付一覧表

令和5年4月1日~9月7日分 (単位 円)

| 給付別種・事由  | 対象     | 給付件数 | 給付額       |
|----------|--------|------|-----------|
| (1) 傷害事故 | 中学校    | 140  | 2,107,843 |
|          | 高等学校   | 40   | 849,546   |
|          | 特別支援学校 | 1    | 6,380     |
| 合計       |        | 181  | 2,963,769 |

| 費用         | 件数  | 金額        |
|------------|-----|-----------|
| (1) 振込手数料  | 100 | 33,055    |
| (2) その他手数料 | 0   | 0         |
| 合計         | 100 | 33,055    |
| 支払総額       |     | 2,996,824 |

## 安全教育推進団体に対する助成

|  |                |           |
|--|----------------|-----------|
| 申請のあった単位PTAに対する助成                          | 1校4万円(上限) 232校 | 9,171,553 |
| 区・部会PTA講演会研修会等助成                           |                | 1,800,000 |
| 横浜市PTA連絡協議会事業助成                            |                | 3,000,000 |
| 横浜市立小学校長会「専門研究事業」                          |                | 300,000   |
| 横浜市立中学校長会指導部・研修部                           |                | 300,000   |
| 横浜市立特別支援学校長会「専門研究事業」                       |                | 300,000   |
| (一社)横浜すばいす「横浜の子どもが作る弁当コンクール」「はまみらいラボ子ども会議」 |                | 300,000   |
| 第1回横浜市小学校マーチングバンド交流会                       |                | 300,000   |
| 横浜市立小学校第4回オリ・パラスポーツフェスティバル                 |                | 300,000   |
| 横浜開港祭 学生サミット2023                           |                | 300,000   |
| (一社)横浜青年会議所「はまっ子スクール2023」                  |                | 200,000   |
| 第60回全国小学校家庭科研究会神奈川大会                       |                | 200,000   |
| 野島クリスマスキャンプ2023オータムバージョン                   |                | 200,000   |
| 第19回学校給食展示会                                |                | 200,000   |
| 第56回全国小学校理科研究大会神奈川大会                       |                | 200,000   |
| ポッチャ体験学習支援事業                               |                | 200,000   |
| ピンクシャツデー2024in神奈川                          |                | 150,000   |
| 第40回横浜港カッターレース                             |                | 100,000   |
| (一社)かけはし「子どもキャリア大学」                        |                | 100,000   |
| よこはま学校食育財団「食育推進事業親子料理教室」                   |                | 90,000    |

令和6年1月末現在

## 令和5年度 区部会事業助成一覧

| 区名     | 開催日   | 事業名  | 会場                            |
|--------|-------|--|-------------------------------|
| 神奈川    | 11/18 | 区P連の輪 親子で楽しく! アイススケート体験  | 横浜銀行アイスアリーナ                   |
| 港南     | 10/25 | 救急救命講習会「応急手当を身につけよう」 講師 上永谷消防出張所長  | 港南スポーツセンター<br>日野小学校           |
|        | 11/10 | 役員交流会  |                               |
| 保土ヶ谷   | 11/29 | 講演会「家庭内でのICT教育」 講師 竹内 薫  | 旭公会堂                          |
| 磯子     | 1/23  | 講演会「地域の中で、楽しくストレスを飛ばす子育て」 講師 立川 生志   | 磯子公会堂                         |
| 戸塚     | 12/10 | 活動交流会全体会「親子で科学を楽しもう!!」<br>講師 東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST   | 東戸塚小学校                        |
| 栄      | 12/1  | 講演会「【戦わないコミュニケーション】～イライラの感情とうまく付き合う～」<br>講師 山崎 洋実  | 栄公会堂                          |
| 泉      | 11/11 | 講演会「【戦わないコミュニケーション】～イライラとうまく付き合う～」<br>講師 山崎 洋実   | 泉公会堂                          |
| 高校     | 7/1   | 夏季講演会「挑戦し続ける精神力」 講師 阿部 雅龍  | 関東学院大学<br>横浜・関内キャンパス<br>鶴見公会堂 |
|        | 11/9  | 秋季講演会「はじめて学ぶ多様な性～LGBTを切り口に多様性を考える～」<br>講師 進藤 夏葉  |                               |
| 特別支援学校 | 9/26  | 第1回研修会(進路分科会)「成人後の人権と生活を守る制度について」 講師 生田 秀<br>第1回研修会(広報分科会)「PTA広報作り講座」「子育てと一緒に」 講師 武 勝美<br>広報誌とくしぶかい 発行 | ろう特別支援学校<br>二つ橋高等特別支援学校       |

## 令和5年度 修学奨励金の給付

|        |      |        |            |
|--------|------|--------|------------|
| 小学校    | 156人 | 30,000 | 4,680,000  |
| 中学校    | 134人 | 40,000 | 5,360,000  |
| 高等学校   | 20人  | 60,000 | 1,200,000  |
| 特別支援学校 | 24人  | 40,000 | 960,000    |
| 計      | 334人 |        | 12,200,000 |

令和5年12月末日現在

## 令和5年度 賠償事故状況

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 申請数    | 89件               |
| 対象事故件数 | 37件               |
| 校種別    | 小学校 30件<br>中学校 7件 |

※高等学校、特別支援学校は申請なし  
令和5年12月末日現在

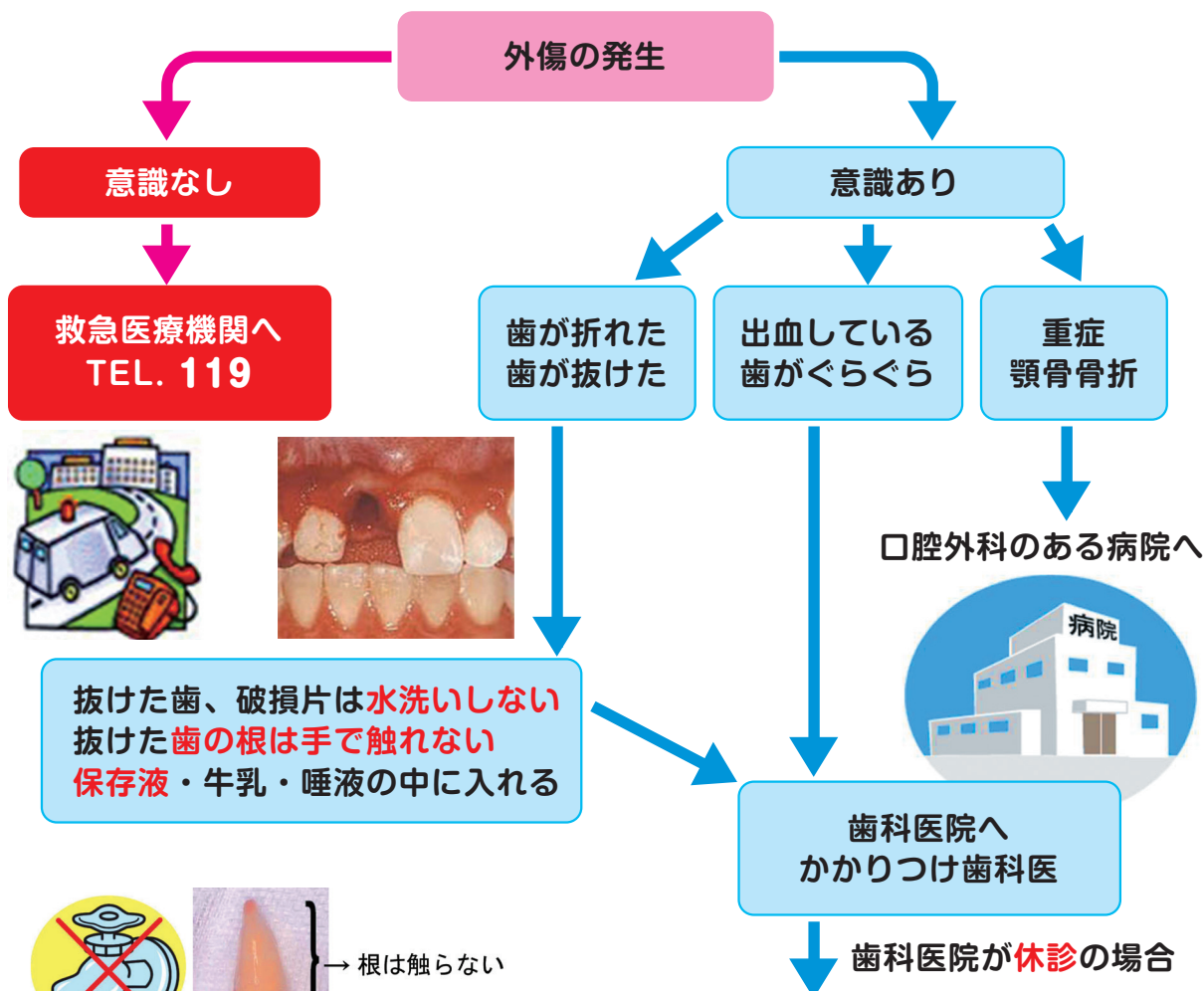
# (一社) 横浜市歯科医師会からのお知らせ

昨今学童期の歯の損傷を被る事故に遭遇するケースが増加しております。学童期のむし歯は減少していても、一瞬にして歯を失ってしまうこととなれば、児童生徒本人、保護者にとっても悲しいこととなります。受傷

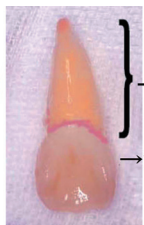
により歯への影響があった場合、歯科医院へ受診するまでの対応が、損傷の大きさに影響します。この度「歯の外傷対応フローチャート」を作成しました。横浜市歯科医師会のHPからダウンロードしてご利用ください。

## 歯の外傷対応フローチャート

**歯の外傷は受傷後早急の治療が必要です。**  
**抜けた歯や折れた歯は、保存液・牛乳・唾液に浸けてお持ちください。**



抜けた歯、破損片は水洗いしない  
 抜けた歯の根は手で触れない  
 保存液・牛乳・唾液の中に入れる



→ 根は触らない  
 → 触ってよい



保存液  
 牛乳 未開封のものが望ましい  
 唾液

**横浜市歯科保健医療センター**  
 231-0012 横浜市中区相生町 6-107  
**TEL.045-201-7737**

<診療時間>  
 毎夜間：19時～23時  
 日曜・祝日・年末年始(12/29～1/4)  
 :10時～16時

<最寄の交通機関>  
 みなとみらい線「馬車道駅」 徒歩5分  
 横浜市営地下鉄「関内駅」 徒歩5分  
 JR「桜木町駅」 徒歩7分